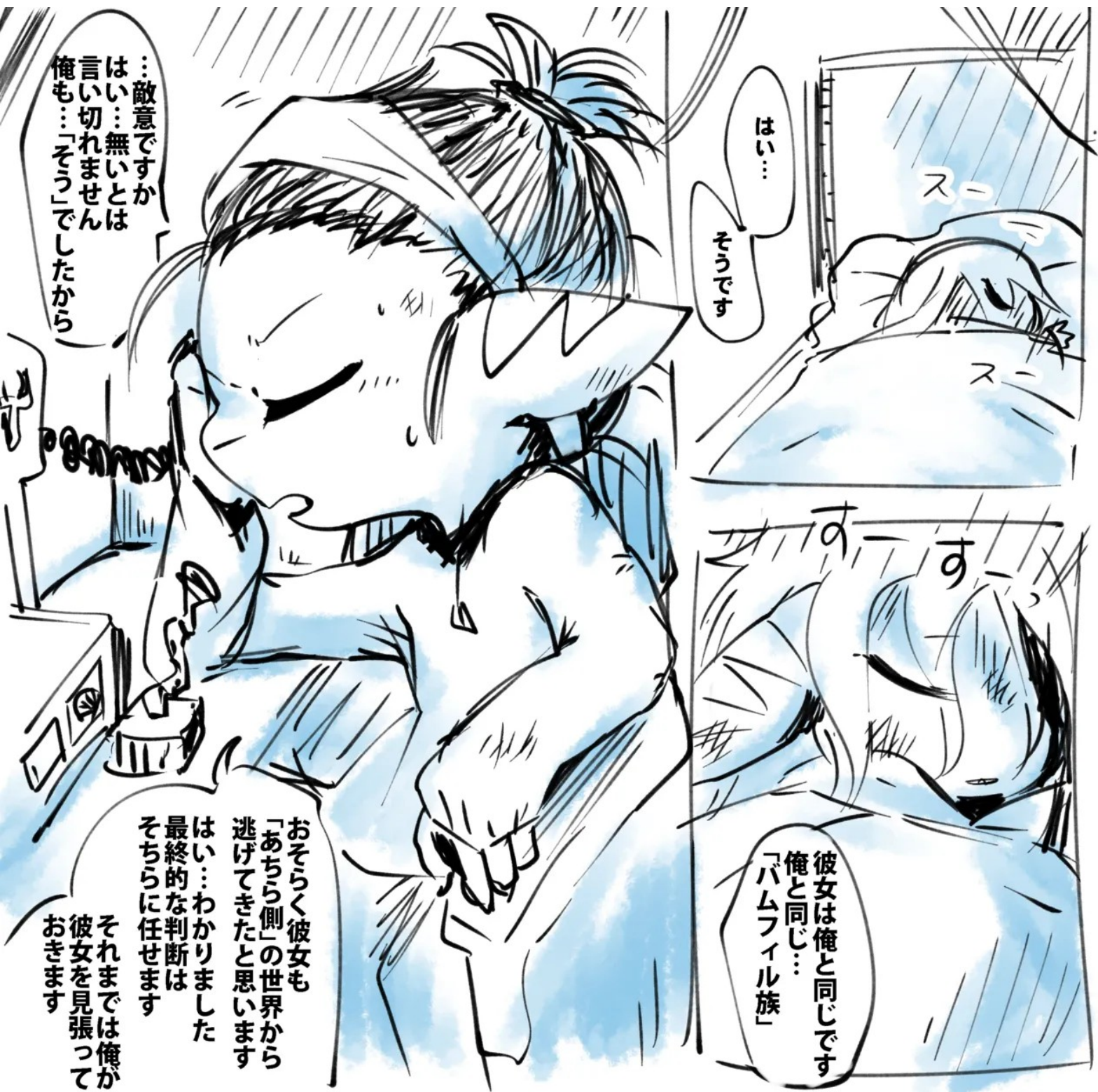






…敵意ですか
はい…無いとは
言い切れません
俺も…「そう」でしたから

はい…
そうです

彼女は俺と同じです
俺と同じ…
「バムフィル族」

おそらく彼女も
「あちら側」の世界から
逃げてきたと思います
はい…わかりました
最終的な判断は
そちらに任せます
それまでは俺が
彼女を見張って
おきます

まずは敵対意識が
無いことを確認
しなきゃ...だ

ちい...
ちい...

フム...

危険だと確認されたら
彼女は処理されて
しまう...なんとか
回避しなきゃな

むぐり

!!

だんだん

す...す...す...
す...す...す...





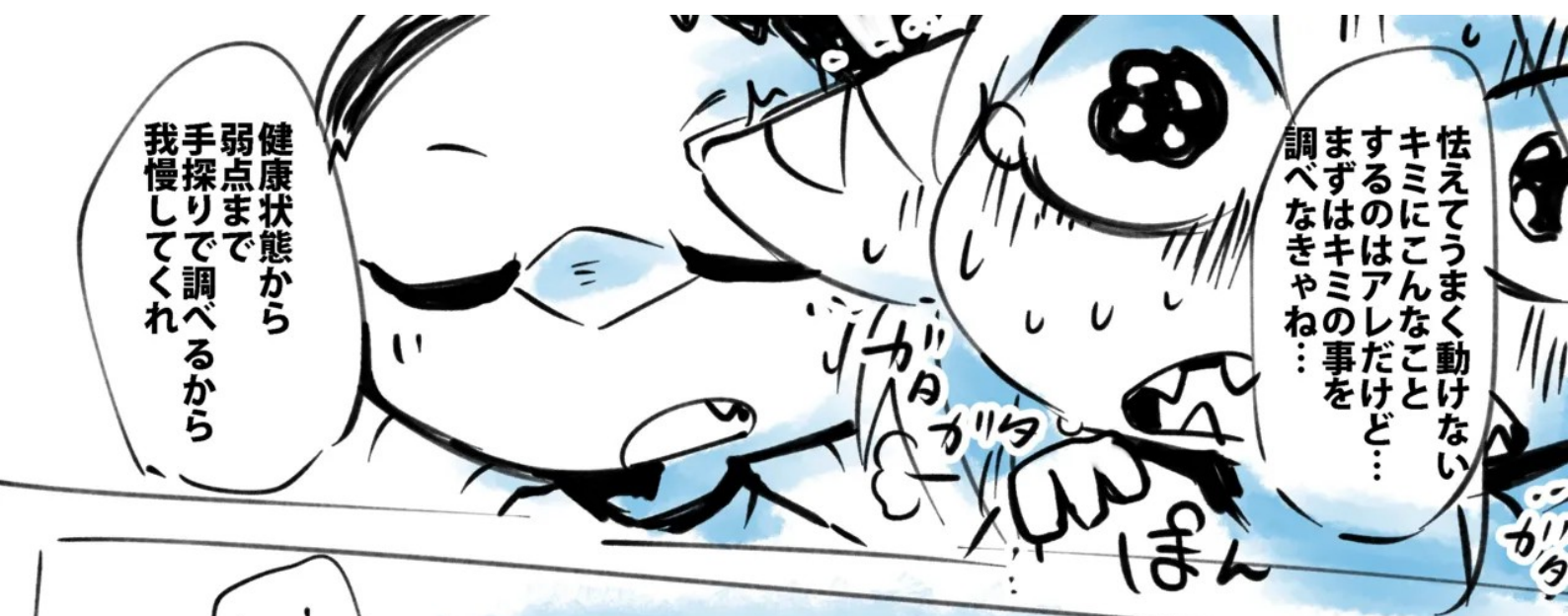


彼女に俺の
威嚇が成功して
良かった
俺たちが元居た
世界は弱肉強食の
世界…
平和な
集落は
存在するが
そこから
出たら
喰うか
喰われるか…

おそろく彼女は
集落から捨てられた
か…逃げたのか

凶暴になってる
のは確かだ
どうにかこっちの
世界に合わせて
あげなきゃ…





怯えてうまく動けない
キミにこんなこと
するのはアレだけど…
まずはキミの事を
調べなきゃね…

健康状態から
弱点まで
手探りで調べるから
我慢してくれ

あゝ
もぞもぞ

ん
ヤアヤア



少しは
落ち着いたかな…

いくつか質問
するけど…

キミの名前は？

…ターニイ…



性別と…年齢は？

女…
たぶん…20…

生まれはどこ？

よく覚えてない
どこかの集落…

何しにこつちの世界へ？

あつちの世界から
出るため…

仲間はある？

友達が…いた
もう…いない…



親や兄弟、家族はいる？

知らない…

家族…居ない…

子供の頃に

お前は

捨てられたって

集落の大人…みんな

言ってた

君に敵意はある？

襲われたら…戦う

腹減ったら…殺して…喰う

今は常に…警戒…して

今は…守る…

しかしなんだって
そんなボロボロに…？
その姿…まるで
野生の魔物だぞ

集落から…追い出されて
賊の奴隷…

そこで
友達が…
できた…
2人で…
賊から…
逃げて…
2人で野生で
暮らす…
ことになった

でも…その仔…
死んだ…怪我した…
大怪我…それから…
わたしは…ひとりで…
すごした

その仔の夢だった
平和な…暮らし…
あっちの世界じゃ…
無理だと思った…
から

こっちの世界に
きた…わたしだけに
なったけど…
その仔の…ゆ…夢
だったから…

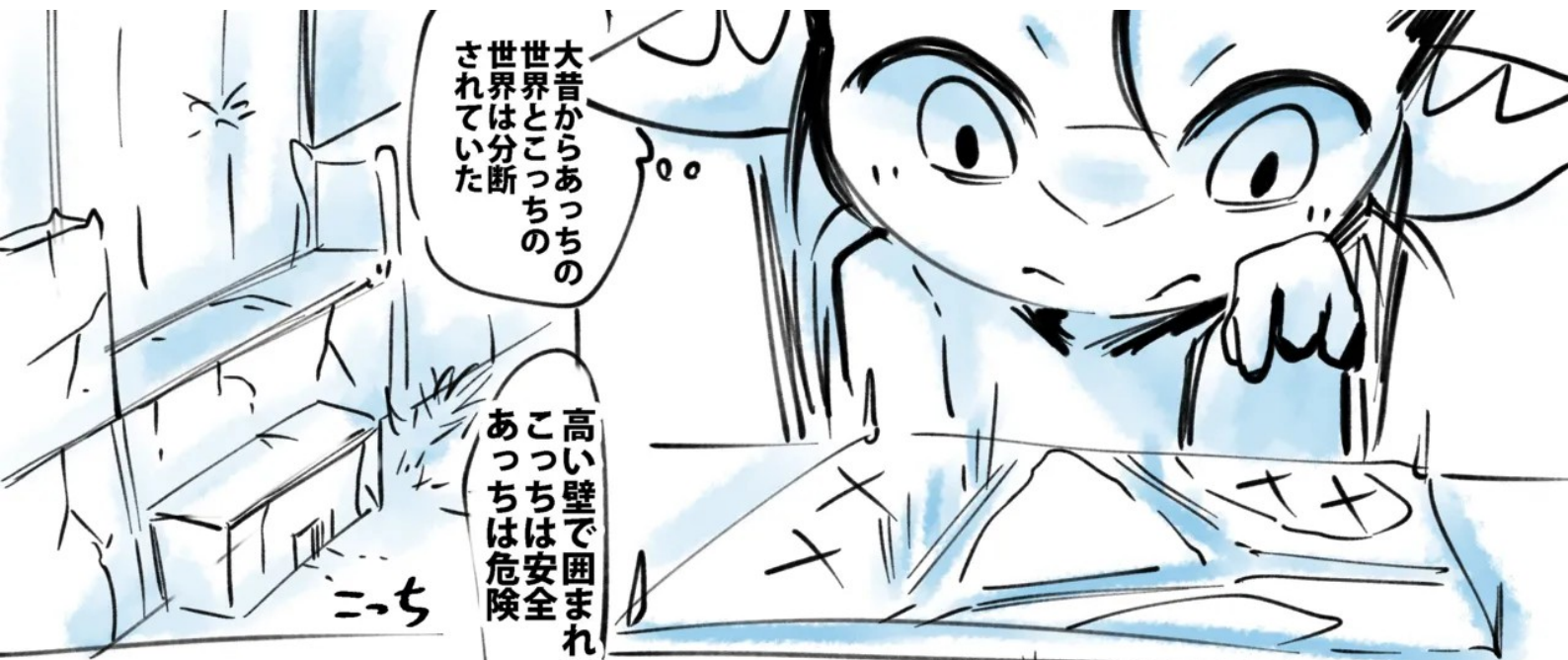
ぽろ
ぽろ…

…かわりに…
わたしが…
えっ…う…

一緒に…
来たかった…なあ…
エリス…うう

は…





大昔からあっちの
世界とこっちの
世界は分断
されていた

高い壁で囲まれて
こっちは安全
あっちは危険

ニっち



こっちの世界は
平和を維持したいらしく
余所者の侵略を
恐れている

↑あっち

ニっち↓

俺も初めて
こっちに来たときは
いろいろと大変
だった...な

あっち





手づかみ
じゃなくて
食器をちゃんと
使いなさい!

そこは
トイレじゃ
ないでしょー!!

俺のおさがりだけど
とりあえず
服を着てくれ:君が
すっぽんぽんだと
俺の股間がやばい

そろそろその
長い髪の毛を
切ろうな
短い方が可愛いと
思うぞ

5日後...

おーい
タニッ!!

そろそろ
時間だぞ
こっちにきて
じっと
しててくれー







クライヴくんの
資料を見る通り
キミは安全…だそうだ

…

だがね…私はまだ
信じられない…クライヴくんの
例があるからね…



…何も
喋らないね
口止めされて
いるのか？

君たちあちら側の
世界のやつらは
どいつも凶暴だ…
だろ？クライヴくん



やめろ…

相手にするな

もう手懐けたのか
クライヴくん



フン…私には
わかるぞ…?
いったいあちらの
世界で何人もの
命を奪ってきた?
キミは血の臭いが
染みついている…

こちらの世界では
君みたいな危険性のある
やつらは皆管理下において
好き勝手出来ないように
収容しているのだよ

今日から私が担当でよかったよ
前任の爺さんはヌルすぎた
危険な奴らはすべて
速やかに処理すべきだ

自由になれるとでも
思ったか?
キミはこれから
収容所行きだ
自由などない!

それが嫌なら
あっちの世界に
送り返してやるぞ

返す?

やだ…

嫌だ…

戻りたくない…

待ってくれ
彼女は
大丈夫だ!
俺が保証
する…!!

こいつさえ…
居なくなれば





だら...だら

き...貴様ア!
やはりその凶暴性
...クライヴと
一緒だな!

はーはー

やはり私の目に
間違いはなかった...
貴様は危険だ...
私に怪我を負わせた
のだからな

くそ...だめだつ
ターニイやめろ...!!
大丈夫だ!俺が...なんとか
するから...俺がキミを
自由にするからつ

あは..

無理だね!!
無防備な私を
突然襲ったんだ
言い逃れは出来ない!
危険度B: いやAは
確実だな...
クライヴ: お前の
思い通りにはさせな...

無防備ねえ...
やけに嬉しそうに
語るじゃないか

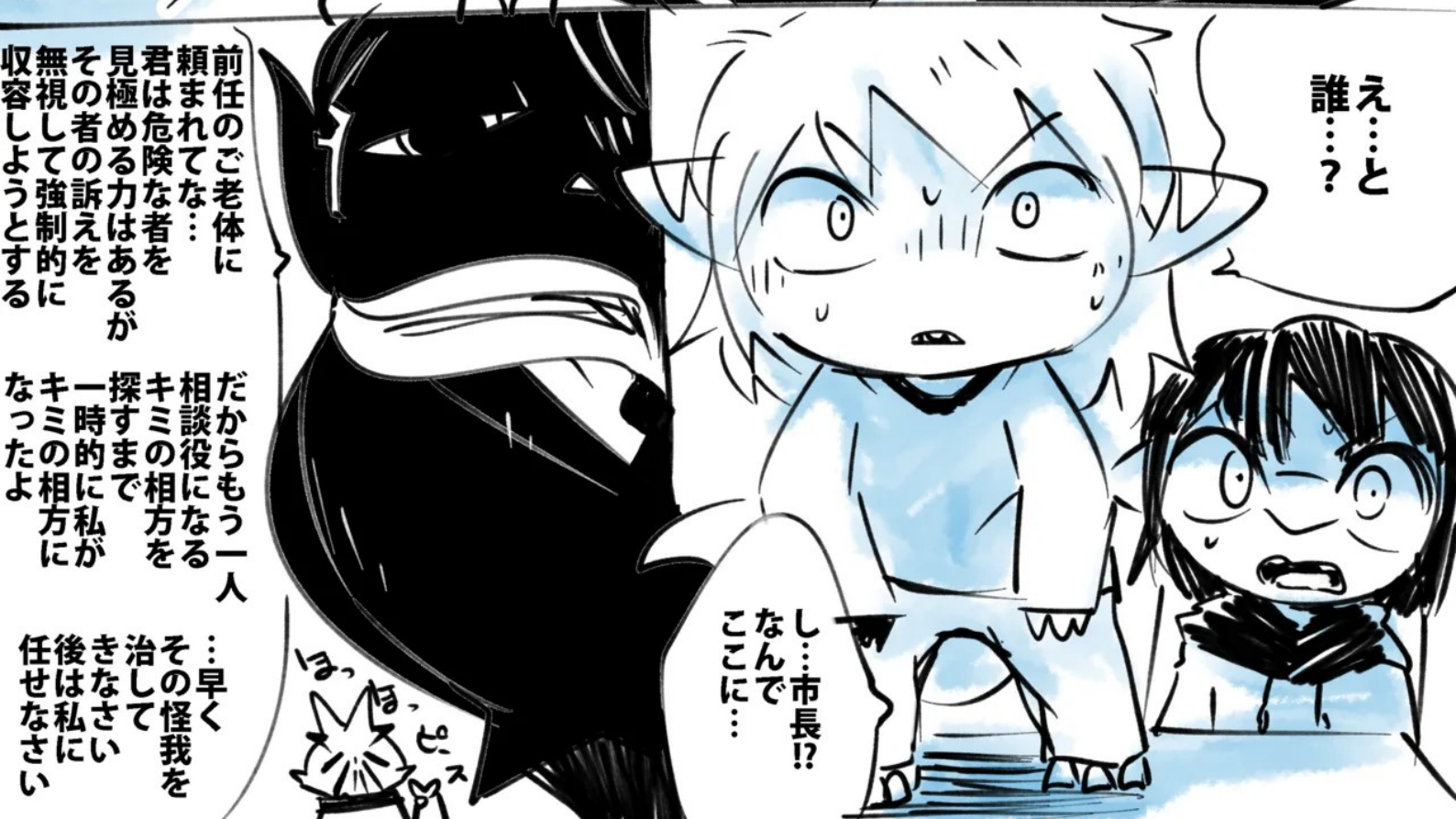
私には...君は
彼女に攻撃
されるような
挑発的な態度を
とったように
見えたのだが?





君は前にも
同じことを
したよね？

あの時は
クライヴを
怒らせて私が
傷を負ったのを
忘れてないよね？



え…と
誰…？

し…市長！
なんで
ここに…

前任のご老体に
頼まれてな…
君は危険な者を
見極める力はあるが
その者の訴えを
無視して強制的に
收容しようとする

だからもう一人
相談役になる
キミの相方を
探すまで
一時的に私が
キミの相方に
なったよ

…早く
その怪我を
治して
きなさい
後は私に
任せなさい

君が…ターニイだね
クライヴと同じ種族…
あちら側から逃げてきた
ということでもいいのかな
彼は自業自得で
あんなったわけだが
君が傷をつけたことに
違いはない…

クライヴ
期限は1週間だ
彼女をこちらの
世界に慣れさせ
るんだ

今のターニイは
危険度Aだ
もしこちらの世界で
自由を手に入れたければ
私達を納得させてみない
凶暴さを感じさせない
ターニイの姿を見たら
危険度を下げよう

一週間…ッ

また私が来た時に
もし彼女が
変わってなかったら
...あとは分かるな？



どうしよう...
いや違う...これは
チャンスだ



ちゅぽ

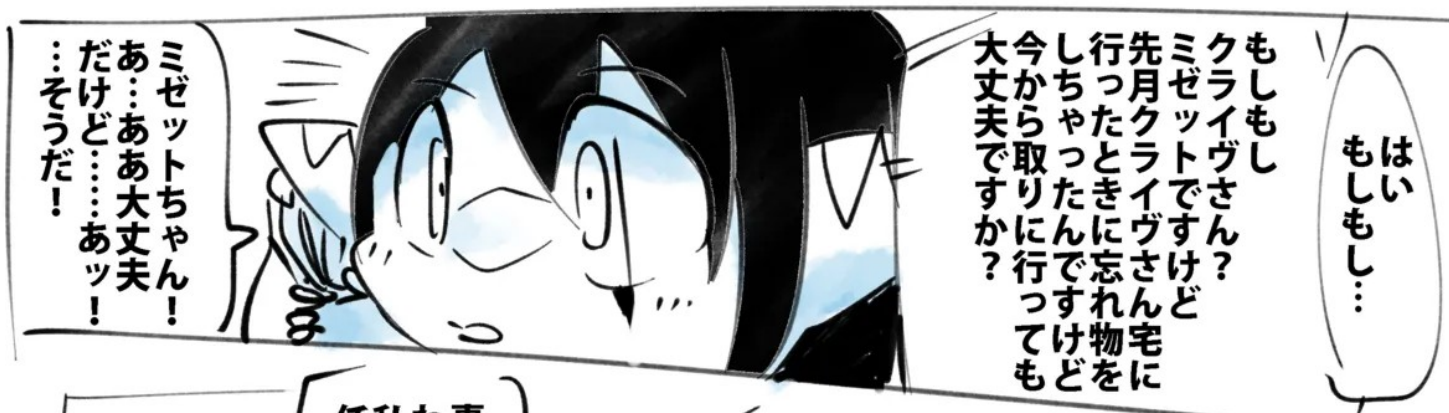
ターニイは
男に對しての
敵対心が高すぎる
やっぱり
女の人の助けを
借りなきゃ...だな

でも現状危険度Aの
ターニイを相手して
いるのか...？

どうにかして
ターニイを
普通の女のコ
にして
あげなきゃ...
でも俺が...
本当にできるのか？

俺が自由に
してやるって
言っただのに
自信が無い...
助けが...いる





すまない
ターニイ…勝手に
決めてしまつて

これからミゼット
というコが来るんだが
今日から彼女の家に
しばらくお世話に
なつてもらう

ミゼ…ト？
しばらくつて…
どれくらい？
わたし…は自由
になつた…の？

ごめん…まだなんだ
ターニイの危険性が
無くならないと…
自由にならない

…わたしは…
何をすれば…いい？
ミゼ…トの家で
暮らせばいい？

そうだ…
彼女の家で
普通の暮らしに
馴染んでくれ
1週間後に
市長が会いに
くる…その時
までな

ごめんなあ
本当は俺がなんとか
しなきゃなのに…

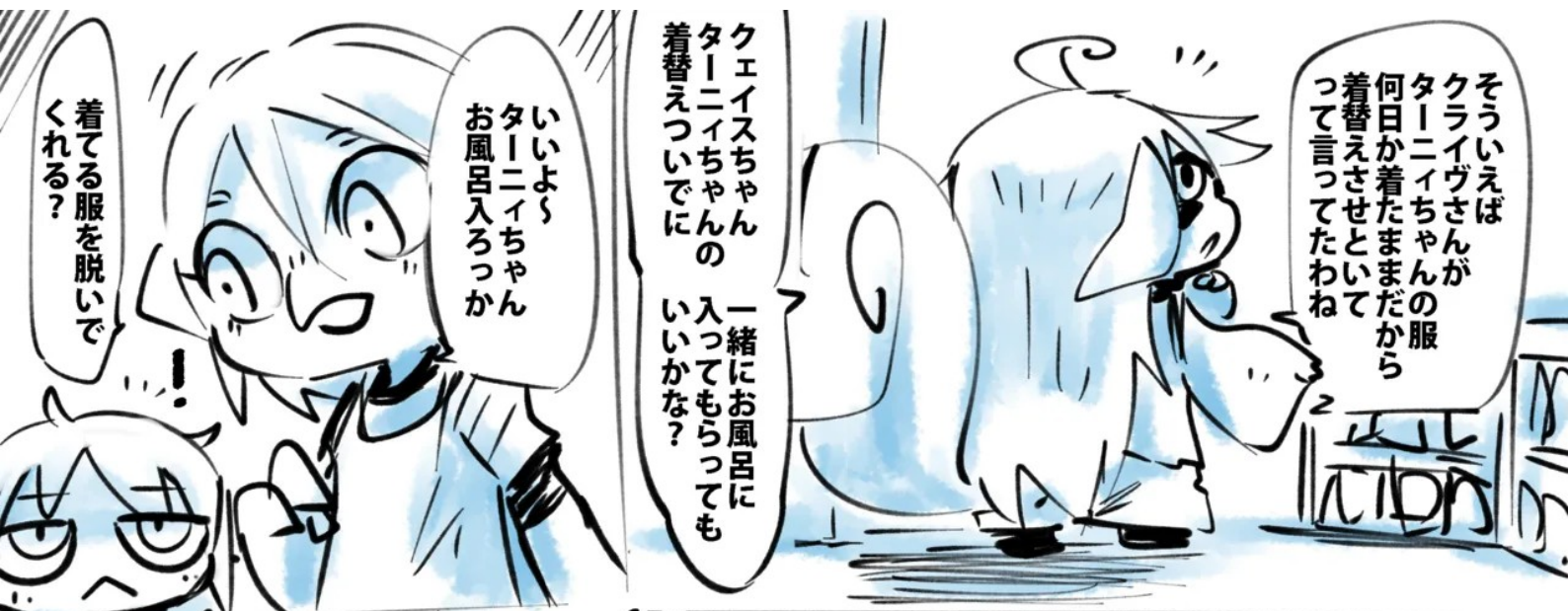
ぎゅ

ううん…









そういえば
クライヴさんが
ターニイちゃんの服
何日か着たままだから
着替えさせといて
って言ってたわね

クエイヌちゃん
ターニイちゃんの
着替えついでに
一緒にお風呂に
入ってもらっても
いいかな？

いいよ
ターニイちゃん
お風呂入るっか

着てる服を脱いで
くれる？



あっ…
そんなに
急がなくても…

ぬぎ
ぬぎ
ぬぎ

よかった…
言う事は
聞いてくれるのね

あ、あ、あ

すぽーん

な…
ななな何事ッ!?

ちよ？えっ
ひやあ、あ、あ

た…ターニイちゃんが
急に私の服を脱がして
私を…裸に…っ



えっ…噛みつかれたとかじゃなくて…服を…脱がされたの？

そうなの!!
それも一瞬で…っ

はわ〜ん…
女の…仔の…
匂い…だあ…

はぁ〜♡

すごく…
久しぶり…
気分…イイ…♡

もぞ

もぞ

ス〜ン
ス〜ン
ん…

ス〜

グ…

なんなの
この変態は〜!!
私の服で
興奮したした…
危険度Aつてもしかして
こういう意味の危険?
…そんなわけないよね

やけに
おとなしい仔だと思ったら
女の仔の前だと
こういう一面もあるのね
新しい問題発生…
ん…?ちよつと待って
逆に利用できないかな?

当初の目的は
彼女の危険度を
下げるコト…
他人に怪我させない
ようにするには
他のコトに注意を
そらせればいい

彼女は同性の仔が
好きみたいだから…
私が彼女を夢中に
させる女になれば
危険度は下がるハズ…!

そんなに私と
お楽しみしたいなら
やさしくして
くれなきゃだなぁ…あ

あ…ああ…っ
かわ…カワイイ…
抱き…たい…っ!

「ターニイ!いきなり人の
服を取っっちゃダメでしょ!」





生のちっぱい...♥

ふにふに...やわらか...
何年ぶりの...女のこの
感触...んっ

おしゃおしゃ

もたもた

あんたも
女でしょ!

ほら
じっとしててよっ
ああもう!私の
おっぱいにもに
しないで!





ふわあああ...
おはよ...

うーん...なあに?
なんだか
騒がしいわね...

今はもう夕方よ
この寝坊助
新しいコをこの家に
迎えたのよ

へえ...
どんなコなの?

ポッポッ



ちょっと
ヤバいけど
なかなか
賑やかなコだよ

街のデータベース
にあればすぐに
調べられるけど...

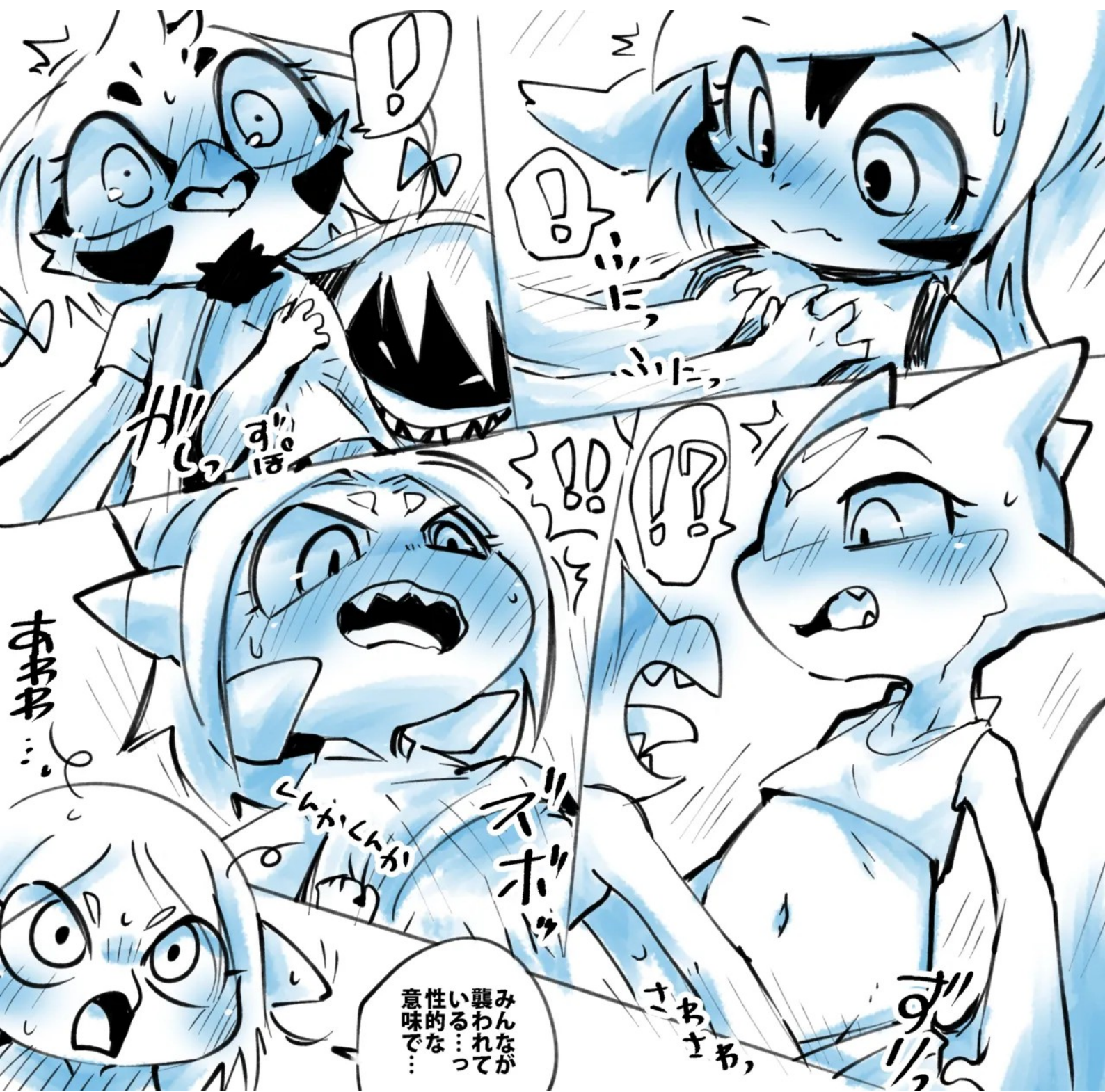


ヤバい...?
どこのコ
かしら...

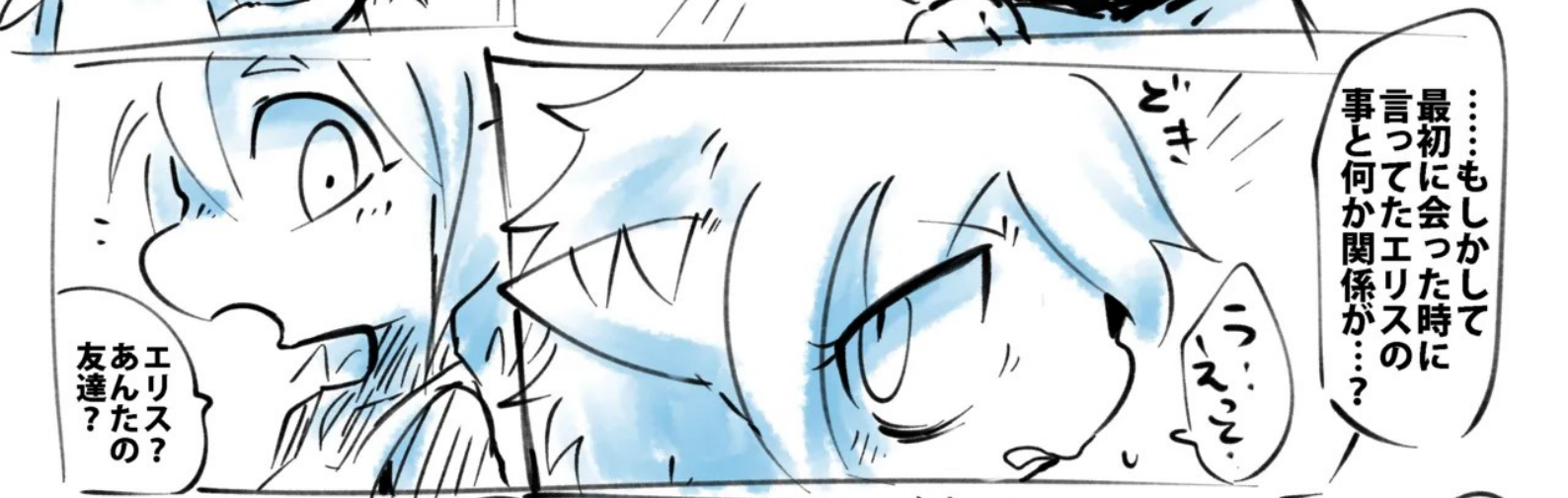
すず













彼女の名前は

エリスティ

私はエリスって

呼んでる

彼女はベルディモ族で
あっちの世界で私と
一緒に賊集団の
性奴隷になっていた

ど…奴隷…って
やっぱりあっちの
世界は危険なんだね…

同じ牢屋に
入ってた時に

彼女は突然
性欲が収まらない
とか言い出して
私とエッチな事を
した…

正直彼女は賊の共
よりも上手だったし…
とても気持ちよかった…

それから私は彼女の虜に
なっちゃって何度も
シちゃったし友達にも
なってくれた

ベルディモ族も
バムフィル族並みに
性欲が高いと聞いたことが
あるが…なるほどな

私たちはお互いを

求め合って

その奴隷時代を

生き抜いた…

ある日私たちは機会を見て
賊の住処から逃げ出すことが
できた…

でもその時に揃って怪我を
しちゃって…私はすぐに回復
したけどエリスはほとんど
弱って…そのまま
彼女は死んじゃった…

2人とも体力も生命力も

回復力も高い

種族なんだが

おそらく彼女は

致命傷だったん

だろう…



私はエリスってコ
みたいのにエッチなこと
よくわからないけど…
あなたの友達に
なる事は出来るわ

アンタのせいで
私の印象がエロい人
になっちゃったじゃん…

ターニイさ…
彼女のこと好きに
なっちゃいなよ
もうこの世に
いない
私のこと
ズルズル
引きずるの
やめてさ…
え…
いいの？

っていうか
絶対そうしなよ！
…彼女は
こんなにもターニイの
こと思ってくれてる
んだよ？

ちゃんと彼女を
受け入れて…他の
みんなも受け入れて…
友達をもっと
増やさないよ

…うん…
わかった

ターニイには
こっちの世界で
私の分も
幸せになつて
欲しいよ…







私はリスベル
この中では
私が一番年下
なの…よろしくね!

んん…
クライヴの服
より綺麗…
きもちいい…

ターニイちゃん!
自己紹介がまだ
だったね…っ

よろしく
リスベル
ちゃん…っ



私はペルセリカ
この街の情報や
ハイテク技術を専門に
扱ってるんだ
よろしくねターニイ

私はレイネス
得意な事は
料理だよ
よろしく!

レイネスちゃん
よろしく
…!!

あと私のことは
ペルちゃんと
呼んでね

ハイテ…?
んあ…
よろしく
ペルちゃん!



うん、
クライヴの
服より
良いにおい
する

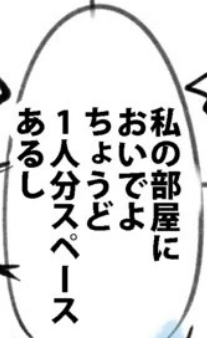
すん すん

リズベルちゃんと
レイネスちゃんに
頼んで買って
きてもらった
新しい服気に入って
もらえた？



さっきも
自己紹介
したけど…
私は
ミゼットだよ
よろしく！

この中では一番背が
小さいけど私が一番
年上で…この家の
代表みたいな
立場かな…



私の部屋に
おいでよ
ちょうど
1人分スペース
あるし



あ…でも
ベッドは
別々ね…！



よかった♪
あとは…
アナタの
寝る所
なんだけど



私もさっき自己紹介
したけど...
私の名前はクエイヌよ
よろしくねターニイ

あなたがここに
来るまでは
私が新人？
だったのよ

くえいす...

クーちゃん
って呼んでも
いい...?

え？
別に
いいけど...

あら、
早速仲良し
さんね！

うぐぐ...
ターニイ
力が強いって...

んははっ
クーちゃん
よろしく！



今日から
一緒に
暮らすことに
なっただけど
あなたには…

まず私たちと
同じように
暮らせるように
ここに馴染んで
もらうからね

まずあなたが危険だと
感じられないように
してくれって
クライヴさんから
頼まれているの

今のところ
あなたは私たちに
危害を加える
つもりはない
みたいだから
安心したわ

そんなことしない…
わたしは…
好き勝手に
攻撃なんてしない…

あいつに
やなこと言われたから…
あいつに…手を出したし…
あつちの世界に居たときだって
こつちが攻撃しなきゃ
やられてたから…

クライヴさんも
そう言ってたよ…
でもこつちの世界は
争いなんてやったらダメ
我慢しなきゃ…

もし今度あの人に
何か言われたら
私が言い返して
やるんだから

約束その一
誰にも
攻撃しない事



一年ぐらい前に
なるのかな...
私がここへ
来たのは...

実は私ね...
こっちの街へ
逃げてきた
ようなものよ

元居た街で
私は悪い男に
騙されて色々
失ったの...
家族も親戚も
友達もみんな
離れて
いったの

それから
心を閉ざすように
なって...周りの人達からは
冷たい視線を浴びるよう
なって...その街には
もういられなくなつて
逃げてきたのよ

このこの
皆はすぐに
私を受け入れて
くれたわ...
おかげですぐに
打ち解けられた

ふふ...
だってこんなに
可愛い笑顔が
出来るコ
なんだもん...

私も最初は
あなたと同じように
みんなに迷惑か
なつて
思ってた...でも
みんな歓迎してく
れた...
だから心配しな
くていいよ

誰も迷惑だなんて
思つて無いから...
それにみんなも
分かつてゐるはず
だよ
ターニイは危険じ
やないつてこと...

えへへ...
ありがと
クーちゃん

クーちゃんはこの街の知識。リズベルちゃんは、この街のいろんな場所。ミゼットちゃんは私の身なりを。ベルちゃんは私の理解できないモノや機械の使い方。レイネスちゃんはおいしいご飯を。

そしてこの数日間みんなから色々教えて貰った！



わかった…
約束通りターニイの
危険度をAからBに
下げよう



Bになったことにより
この街で「暮らす」事を
許可する…だが
監視体制はそのままだ

もし誰かを
傷つけたりしたら
すぐにAに戻して
収容してやるからな！

よかったな
お二人さん
ホー、
やったら
一緒に
暮らせるっ



我々はこの辺で
失礼する…
クライヴ…ミゼット
あとは頼んだぞ



決してターニイに
危険なコトをさせない
こと！この街の
平和を守ることに！

分かってます…!!
彼女も平和な暮らしを
望んでますから…ツ



私たちに
任せてください！

なんとか
なったね

ああ…でも大変
なのは…これからだ

特にターニイは
性欲がすごい…
定期的に発散させて
あげないと…

君たちに
任せても
大丈夫…?



だ…大丈夫…
彼女がやりたかったら
私たちがなんとか
対応する…から
えと…うん
大丈夫…



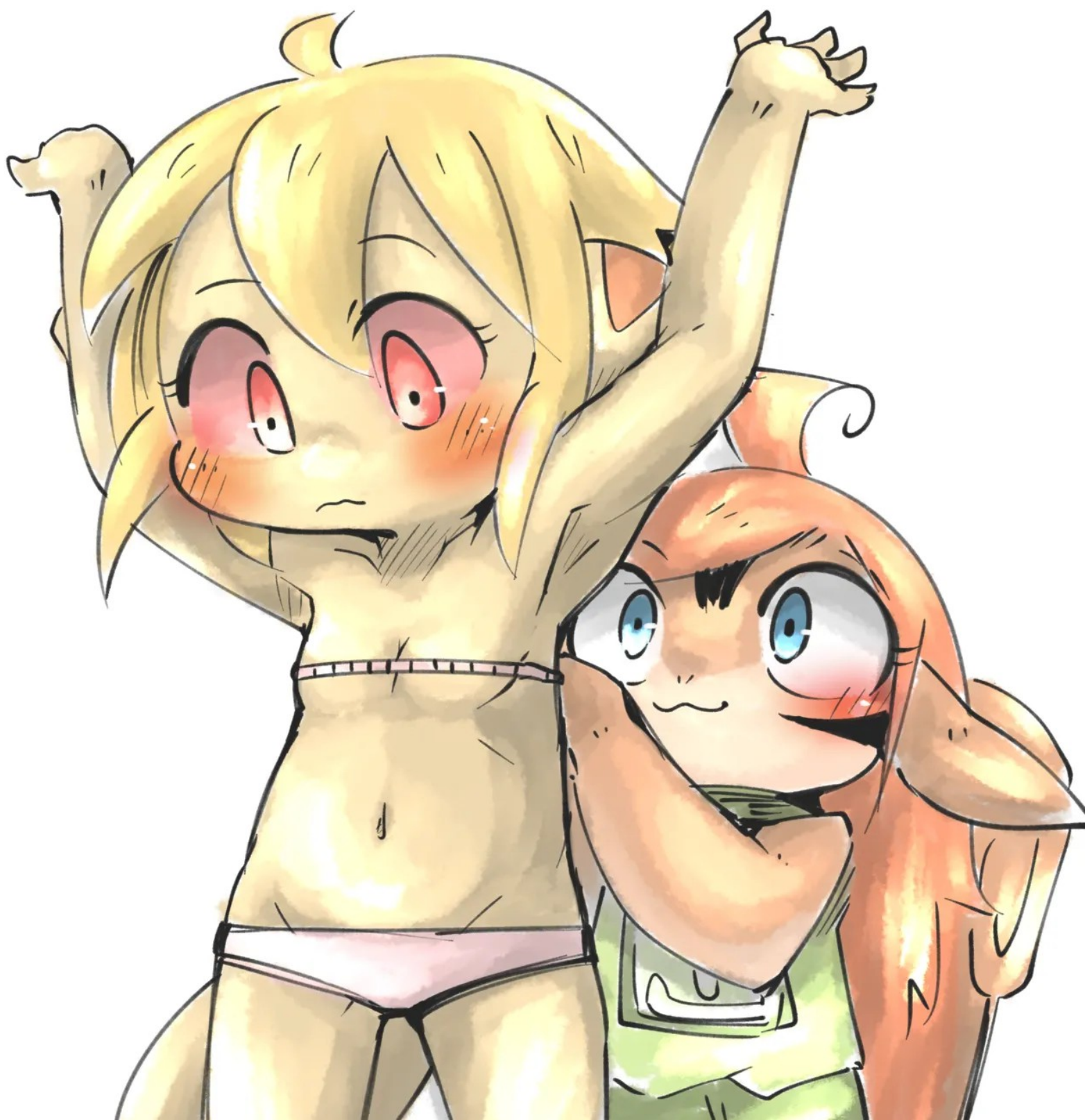


















ホッ
ホッ

ッ
ッ
ッ